

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Pembrolizumab +PTX+CBDCA 療法

3 週毎 6 コース予定

疾患名 子宮体癌

主治医 指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day1
キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200 mg/body	↓
パクリタキセル	175 mg/m ²	↓
カルボプラチン	AUC 5	↓

【注意】 * ペムブロリズマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μ m)を使用すること

* アルコール過敏 有・無

* パクリタキセル投与開始後1時間は血圧、心電図モニターにて監視すること

* パクリタキセルはインラインフィルター(0.2または0.22 μ m)を使用し、DEHPフリー点滴セットを使用すること

* 6コース終了後は、Pembrolizumab療法を継続すること。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day 1

- | | |
|--|--------------------|
| ① 生食 500 mLにて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② キイトルーダ 200 mg + 生食 50 mL | 点滴静注30分(100 mL/時間) |
| ◎メインの生食でフラッシュ | |
| ③ レスタミン 10 mg 5錠 | 内服 |
| ④ ファモチジン 20 mg + デキサメタゾン 16.5 mg | 側管静注 |
| ⑤ アロカリス 235 mg + パロノセトロン 0.75 mg + 生食 100 mL | 点滴静注30分(200 mL/時) |

Pembrolizumab+PTX+CBDCA 療法

- ⑥

パクリタキセル

+ 5%ブドウ糖 500 mL

点滴静注180分(167 mL/時間)
- ⑦

カルボプラチン

+ 5%ブドウ糖 250 mL

点滴静注60分(250 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2, 3

必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 1錠 1×朝食後 内服

	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース
月 日	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
パクリタキセル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						